

令和6年度岩手県流域下水道事業会計決算概要

岩手県県土整備部

【要旨】

- 本県の流域下水道事業は、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行。
- 経常収益は、長期前受金戻入の減などにより、前年度比4.0%減の84億3千2百万円余となり、経常費用は、処理場費の運営等に要する委託料の減などにより、前年度比2.6%減の84億8千5百万円余となった。
- この結果、経常損益、純損益は、前年度比177.7%減の5千3百万円余の赤字となった。

1 令和6年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益		8,432,478	8,783,205	△ 350,727	△ 4.0%
経常費用		8,485,724	8,714,675	△ 228,951	△ 2.6%
経常損益		△53,246	68,530	△ 121,776	△ 177.7%
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	0	0	—
純損益		△53,246	68,530	△ 121,776	△ 177.7%

2 経常収益の状況

長期前受金戻入の減(△310,921千円)などにより、前年度比350,727千円減(△4.0%)の8,432,478千円となった。

3 経常費用の状況

処理場費の運営等に要する委託料の減(△104,255千円)などにより、前年度比228,951千円減(△2.6%)の8,485,724千円となった。

4 経常損益、純損益の状況

以上の結果、経常損益、純損益は、前年度比121,776千円減(△177.7%)の53,246千円の赤字となった。

なお、経常損益の年度目標値(R6)に対する実績は次のとおりとなった。

区分	年度目標 (R6)	実績	増減	備考
経常収支比率	100.0%	99.4%	△0.6ポイント	年度目標を未達成

※令和6年度は、経常収益の減に伴い経常費用の圧縮に努めたが、電気料金や物価上昇等の影響により最終的に赤字となった。令和7年度以降は、電気料金や物価上昇に対応した収益の確保が可能となる見通しであることから、黒字の見通しである。

5 汚水処理状況

令和5年度と比較し、流入汚水量は2.3%の減となり、69,584千m³を処理した。負担金収入は、0.4%増の、4,197,224千円となったが、令和4年度から関連市町の負担方法を総括原価方式へ変更しており、実績処理水量による負担金収入の差額が生じない、安定的な収入が得られるようになっている。

区分	年度	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較		処理区域
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B	
流入汚水量 (千m ³ /年)		69,584	71,202	△1,618	△2.3%	
北上川上流流域 (千m ³ /年)		66,106	67,675	△1,569	△2.3%	盛岡市、滝沢市、雫石町、 矢巾町、花巻市、北上市、 奥州市及び金ケ崎町
磐井川流域 (千m ³ /年)		3,478	3,527	△49	△1.4%	一関市及び平泉町
市町負担金収入 (千円)		4,197,224	4,180,156	17,068	0.4%	